



# かもめ便り

社会福祉法人 小渦会 理事長 高橋 徹  
鳴門シーガル病院 院長 福永 明広

シーガル病院

検索

## 記事紹介

- 理事長新年のご挨拶 — 1面
- クリスマス会 — 2面
- 配食サービス — 2面
- 家族介護者教室 — 3面
- rTMS講演会 — 3面
- 院長新年のご挨拶 — 4面

【ホームページ】 <http://k-seagull.jp/> 【所在地】 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 【TEL】 088-688-0011 (代)

### 新年のご挨拶

社会福祉法人 小渦会  
理事長 高橋 徹



皆さん、新年おめでとうございます。

令和三年のお正月は、如何でしたか。

昨年の新年のご挨拶で「日に新たに」という言葉を紹介させていただきましたが、昨年はコロナ禍で、まさに「日々新たな」対応をせまられた大変な一年でした。

患者さん・利用者の皆さんには、当法人の新型コロナ対応の取組みへの深いご理解とご協力を。そして、職員の皆さんにはこれまで以上の感染症対応への多大のご労苦をいただき、どうか新年を無事迎えることが出来ました。本当にありがとうございます。このコロナ禍は未だ終息の兆しが見えず、今年も続きますが、どうか皆さん方には、引き続き気を緩めることなく、キッチリとした対応を心よりお願い申し上げます。

さて、「辛丑(かのと・うし)」の今年は、「痛みを伴う幕引きと大きな命の芽吹き」の年であると言われております。

当法人では、一昨年後半から進めておりました鳴門シーガル病院へのrTMS治療装置の導入、徳島シーガルクリニックにおけるリワークデイケアの実施、いやしの杜クリニックのデイケア大規模化という新たな3つの取組を、昨年の春以降順次開始して参りました。

また、両クリニックでの一部2診化に加え、かねてからの懸案であった「多機能型支援事業所ジョイナス」も開設し、これまで関係者の念願であった「就業支援」や「相談支援」という分野で、障害福祉サービスを開始いたしました。これらの新しい取組は、コロナ禍の影響もあって、顕著な利用者数の増加には至っておりませんが、昨年九月には新たに渡部副院長をお迎えし、医療面での充実も図りました。

今後、当法人の創立百周年(2026年)に向けて、障害者の福祉の向上に携わる「社会福祉法人」として、障害者の皆さんが、「自立した生活を地域社会において営むことができる

よう支援する」ため、引き続き、「就労支援」、「相談支援」や「共同生活援助」事業の充実と、「自立生活の援助」機能の充実など、今年も一歩進化した取組を進めていかなければならないと思っております。

患者さん・利用者の皆さんには、そうした進化・新しい取組みへの深いご理解とご協力を。そして、職員の皆さんにはこれまで以上のご労苦を重ねてお願いいたします。

なお、私事で恐縮ですが、年末から年始にかけて救急医療機関に入院し、関係者の皆様に大変ご心配をおかけいたしました。まだ体調は万全ではありませんが、これまでと同様、今年も先頭に立って「思いやりの心」・「柔らかな心」を常に忘れず、「日に新たに」取り組んで参ります。

今年も、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



丑

謹賀新年

イベント

クリスマス会を開催しました

令和2年12月23日(水)、毎年恒例のクリスマス会を開催しました。会場にはクリスマスツリーをはじめ、多くの装飾が準備され、華やかな雰囲気の中で開催されました。

今回のクリスマス会は、入場前の手指消毒の徹底、各病棟ごとに分散しての入場や時間制限など、新型コロナウイルス対策を施して開催されました。

フライドポテト、チキンナゲット、ホットドリンク、お菓子すくいコーナーの他、景品が当たる抽選会も開催されました。また、院長と澤田医師がサプライズでカラオケを披露し、たくさんの患者さんに喜んでいただきました。



地域交流

配食サービスを実施しました

令和3年1月5日(火) 鳴門市瀬戸町堂浦にお住まいのご高齢の方を対象にお弁当を届ける「配食サービス」を行いました。今回は反射材などの交通事故防止グッズや多機能型支援事業所ジョイナスで作成した布マスクも一緒にお配りしました。



## 地域交流

## 家族介護者教室を開催しました

令和2年11月14日(土)  
瀬戸公民館にて家族介護者教室  
を開催しました。

『尊厳ある生活を ～おむつの  
選び方・使い方～』をテーマ  
に、おむつメーカーの社員の方  
を講師に迎え講演を行って  
いただきました。

実物を用いて、おむつの選  
び方や吸水性などの実証を行  
ったり、会の終盤にはその場  
でできる健康体操を参加者  
全員で行いました。

講演前には、健康チェック  
と健康相談会も行われ、今  
度も多くの方々にお越しい  
ただき、たくさんのお好評を  
いただきました。



## シーガルニュース

## r TMS療法の講演会を開催しました

令和2年11月17日(火)、鳴門シーガル病院にてr TMS療法の講演会を開催しました。

浅香山病院(大阪府堺市)臨床研究研修センター長で和歌山県立医科大学名誉教授の篠崎和弘先生を講師としてお迎えし、『r TMS治療の過去と未来』というテーマで講演していただきました。

4月より当院でも導入しているr TMS療法ですが、新しいうつ病の治療方法として注目されております。当院でのこれまでの治療実績を踏まえ、その有効性や再発防止のために取り組むべきことなど、スライドを用いて講演していただきました。講演会後には質疑応答があり、多くの質問にお答えしていただきました。

r TMS治療を導入している病院は全国的にも多くはありません。今後とも両医療機関で情報交換を行い、よりよい医療を提供できるよう努めて参ります。



新年のご挨拶

院長新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

例年通り、今年の抱負を語りたいところですが、今回だけは旧年を振り返らないわけには参りません。中国、武漢を端に発したコロナウイルスが瞬く間に世界中を席捲し、今も感染を広げながら尊い人命を奪い、経済的大打撃を与え続けています。本来ならば東京オリンピックが開催され、日本国中が沸き立っていたことでしょう。しかし、人々は不要不急の外出を控え、巣ごもり生活を強いられています。

第一次世界大戦にスペイン風邪がパンデミックとなり、今から100年前の1920年に終息しましたが、世界で数千万人が亡くなりました。これに懲りた世界は、WHOの前身を設立しました。しかしながらWHOは、今回のコロナの蔓延を食い止めるどころか、耳を疑うような発表も相次ぎました。

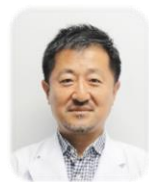
あの有名なビルゲイツは、何年も前から新型コロナウイルスが人類に与えるリスクは戦争よりも大きいと警鐘を鳴らしていました。そして、感染症対策の研究に莫大な私財を投じてきました。今回信じられない速度でワクチン開発がなされたのも、そのおかげなのです。

グローバリズムの脆弱さも露呈しました。ヒト、カネ、モノの自由な動きはウイルスの拡散を加速させました。中国の工場化により、自国でモノが作れなくなり、マスクや抗生物質の供給が一時的に困難となりました。アメリカのような大国では貧富の差が広がり、持たざる者や弱者が次々と亡くなりました。今後は各国とも自国保護に向かうでしょう。

以上のようにコロナに蹂躪された1年でしたが、多くの学びもあったのではないのでしょうか。在宅勤務やオンラインといった、仕事の在り方の変化も然り。そして何よりも

当たり前の自由がどれ程貴重だったのかを私たちに気づかせてくれたような気がします。

「禍を転じて福と為す」という諺があります。今年、「コロナ禍」を「鬼滅の刃」で殲滅し、「福」がやってくることを心から祈念しつつ、新年の挨拶とさせていただきます。



院長 福永 明広



【編集後記】

かもめ便りの新年号が完成しました。本年は新型コロナウイルスが収束し、昨年開催できなかったイベントを多く掲載できるよう願っております。

次号（『かもめ便り』第26号）は、2021年5月に発行の予定です。

広報委員会

社会福祉法人 小瀬会URL



鳴門シーガル病院 交通案内

● JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

● 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料) 運航時間

午前7時30分から午後5時20分まで

定時運航(10分～30分間隔)しています。

TEL088-688-0011(代)

